

## 堅下北中学校区小中合同道徳研修（2月13日）

校区の小中一貫教育の取組みでは、児童生徒の交流に加え、教員同士もめざす子ども像を同じにし、連携を密にするようにしています。そんな中、2月13日（月）に、3年ぶりの小中合同道徳研修を行いました。2年生の1クラスで担任が「特別の教科 道徳」の授業を行い、その様子を教室だけでなく、リモート中継で他2教室に映像を飛ばし、総勢50名を超える教員で参観しました。授業後は体育館に場所を移し、全員で授業を振り返って研究討議を行いました。「特別の教科 道徳」は小学校、中学校で共通に学ぶ科目であるため、校種を越えて話し合うのに最も適しています。そのことあり、11に分かれた各グループで大変活発な意見交換ができ、終わりには講師である本市にもなじみのある大学の先生から貴重なご助言もいただいて、学びを更に深めることができました。コロナがもっと落ち着き、今後はこのような研修会がより活発にできることを願っています。

